

平成 30 年度事業報告

基本理念「共につながり支え合い安心して暮らせるまち」

◆平成 30 年度事業概要～新規事業等の取組み

1 地域で安心して暮らせる環境づくり

■社協の運営・組織の体制整備

(1) 地域福祉活動計画の策定

平成 31 年度から 10 か年計画で事業計画の柱となる地域福祉活動計画を、町の地域福祉計画と合同で策定しました。30 年度は「地域福祉おこし事業研修会」を開催し、「福祉でまちづくり」をテーマに本計画と地域福祉のこれからの取組みや視点について理解を深めました。

策定委員会は第 3 回から第 7 回まで開催し、計画素案や概要版について協議しました。平成 31 年 5 月に概要版を全戸配布しました。

2 つながりの意識づくりと参加のきっかけづくり

■地域を支える担い手の育成支援

(1) ボランティア入門講座の開催

ボランティア活動者の裾野を広げるため入門講座を開催しました。内容はボランティア活動の現状や基礎を学び、配食サービスや高齢者施設等での体験を行いました。あわせてボランティア活動者とのワークショップで入門講座の振り返りを行いました。

(2) ボランティアの集いの開催

ボランティア活動者の情報交換を目的にボランティアの集いを開催しました。活動の状況や活動保険の更新等について理解を深め、他グループとの情報や課題について共有し今後の活動展開に役立てていただきました。

◆事業活動の内容

基本方針①地域で安心して安全に暮らせる環境づくり

- 実施計画 1 人にやさしいまちづくりの推進
- 2 権利擁護の推進
 - 3 地域ぐるみの防災・防犯活動の推進
 - 4 障害者の自立促進と社会参加の促進
 - 5 社協の運営・組織の体制整備

社協だより、ウェブサイトを有効活用し情報を発信する

広報誌「たいわ社協だより」を年に4回発行。町内の関係福祉団体、施設の情報を広く発信しました。

発行月	7月・10月・1月・4月
発行部数	7月 10,900部・10月～4月 11,000部（合計 43,900部）
送付先	毎戸（区長配達依頼）、特別会員、町内関係福祉施設 県内市町村社協
編集委員会	5月15日・8月9日・11月8日・2月14日

発行事業費 1,196 千円

日常生活自立支援事業（まもり一ぶ）の実施

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等を対象に日常的な金銭管理、福祉サービス利用の助言などを実施しました。

年度末利用者数	認知症高齢者 3名 知的障害者 2名	前年度比（+2名）
相談受付件数	認知症高齢者 2名 知的障害	前年度比（-1名）
生活支援員数	2名	前年度比（-1名）
生活支援員との同行	65回	前年度比（+13回）
保管内容	通帳 8冊 印鑑 4本	前年度比（+3冊+1本）

事業費：県社協委託料 44 千円

災害ボランティアセンター研修会の開催

平成 27 年関東・東北豪雨水害において大和町災害ボランティアセンターが行った活動を振り返りこれまで研修を重ね、地元のボランティアの力が重要であることから設置立上げの模擬訓練を行いました。災害ボランティアセンターの機能、運営、役割や平時から地域づくりに繋げることについて、区長・民生委員児童委員・ボランティアなど災害ボランティアセンターの運営に関心のある方と理解を深めました。

日 時	平成 31 年 3 月 19 日 (火) 13:30~15:30
会 場	町民研修センター大集会室
参加者	46 名
講 師	ウェザーハート災害福祉事務所代表 千川原 公彦 氏
内 容	模擬訓練：災害ボランティアセンターの運営

事業費：県社協補助金 80 千円

地域活動支援センターの運営

軽作業を中心とした障害者の自立促進と社会参加の機会の提供を図り、週 4 日開所。

年度末登録者数	17 名(精神 15 名／知的 1 名／その他 1 名)	前年度比 (- 2 名)
指導員数	4 名 (うち看護職員 1 名)	前年度比 (±0 名)
延べ開所日数	191 日	前年度比 (- 3 日)
延べ通所人数	1,460 名	前年度比 (+ 2 名)
主な活動内容	箸入れ作業、生活訓練、調理実習、作品づくり、季節の行事	

事業費：町委託料：7,090 千円

工房ななつもり支援事業「カフェななつもり」の実施

地域活動支援センター利用者の支援、登録外者との交流・見学の機会として実施しました。

実施回数	23 回 (第 1 第 3 水曜日午前)	前年度比 (+1 回)
延べ参加人数	工房ななつもり登録者 63 名	前年度比 (+14 名)
	登録外者 23 名	前年度比 (- 2 名)
主な活動	作品づくり／書道 (ボランティア) ／茶道 (ボランティア)	

障害者相談支援事業の実施

利用者の意思を尊重し、自立した日常生活を営むことができるよう計画相談支援の提供に努めた。あわせて計画相談支援に至る前の基本相談支援の提供もあわせて行いました。

【計画相談支援実績】

計画相談支援	16件	障害児相談支援	2件
計画相談支援継続	24件	障害児相談支援継続	1件

サービス利用計画費収入：561千円

【基本相談支援実績】

新規件数：障害者	8件	身体2／知的2／精神4
延べ件数：障害者	78件	身体2／知的9／精神67
新規件数：障害児	2件	知的1／その他1
延べ件数：障害児	5件	知的5
対応形態		訪問11／来所148／同行2／電話64／電子メール41 関係機関172／その他16 合計454件（昨年比+160件）
相談内容（重複あり）		福祉サービスの利用45／障害や病状の理解／58 健康・医療77／不安の解消・情緒安定214 家族、人間関係177／家計、経済59／生活技術37 就労18／社会参加、余暇活動49／権利擁護2 その他234 合計970件

事業費町委託料：136千円

地域福祉活動計画の策定

町の地域福祉計画と合同で策定委員会を立ち上げ、住民や関係機関等へのアンケート調査及び地域住民懇談会を開催しました。

策定委員会の開催	3回目：平成30年7月3日（火） 4回目：平成30年7月18日（水） 5回目：平成30年10月24日（水） 6回目：平成30年11月21日（水） 7回目：平成31年1月18日（金）
策定委員構成	区長会／民生委員児童委員／シルバー人材センター ボランティア友の会／保健推進委員／老人クラブ 身障協会／子育てサロン、協議会／職業安定所 社会福祉法人／宮城県／宮城県社協／宮城大学
地域福祉おこし事業	平成30年7月4日（水）

研修会	対象：一般住民・策定委員 講演「あなたの老後は誰がみる～福祉でまちづくり 講師：東北福祉大学大学院教授 大橋 謙策 氏
-----	---

事業費：523 千円

基本方針②つながりの意識づくりと参加のきっかけづくり

実施計画 1 福祉の心の育成

2 地域交流の場の拡充

3 地域を支える担い手の育成支援

福祉教育事業の実施（夏休み・冬休み体験講座等）

小学3年生以上を対象に、キャップハンディ体験を行い障害への理解を深めました。

実施月日	①平成30年 7月24日（火） ②平成30年 8月3日（金） ③平成30年 12月27日（木）
会場	ひだまりの丘（7/24） 南部コミュニティセンター（8/3・12/27）
参加者	小学生 5名（①7/24） 6名（②8/3） 12名（③12/27）
内容	視覚障害・下肢障害体験
講師	宮城県七ツ森希望の家

ボランティア入門講座の開催

ボランティア活動の裾野を広げ、はじめの一步を応援することを目的に入門講座を開催しました。

実施月日	平成30年6月21日・7月12日・17日 3講
内容	大和町のボランティア活動の現状 車イス介助体験・エコ石鹸づくり・認知症サポーター養成講座 ボランティア体験（配食サービス等）・ワークショップ
受講人数	6名

子育てサロン「きらきら」・おもちゃ病院「ひまわり」等の支援

平成 19 年度～21 年度に子育てサポーター養成講座を、平成 21 年度と 24 年度におもちゃドクター養成講座を開催し、それぞれの修了者で作る自主グループの活動を支援しました。

歳末たすけあい運動 募金配分の実施	配分委員会で活動助成金の配分を決定 子育てサロンきらきら 50,000 円 おもちゃ病院ひまわり 50,000 円
----------------------	---

平成 24 年度から 27 年度まで開催した手話初級講座修了者でつくるサークル活動の「もたろう」フォローアップを行いました。

事業の開催数	年 22 回（毎月第 2・4 月曜日）
内容	町内在住の聴覚障害者、手話通訳者、健聴者等が会員となり初心者向けのテキスト DVD を使用しお茶を飲み交流しながら、一歩ずつ手話を学んでいます。 延べ 142 人参加

ボランティア交流会の開催

ボランティア活動の発表と情報交換を目的に交流会を開催しました。活動のきっかけや励みになっていること、個人・グループそれぞれの課題などを共有しました。

実施月日	平成 31 年 2 月 25 日（月） 13：30～15：30
内容等	演芸活動発表 琴伝流大正琴吉岡教室 様 アンサンブルカトリア 様 ダンベル体操 五葉会 様 情報交換 10 グループ 報告/説明 ボランティアセンターより活動の現状、V 保険について 参加者 59 名

まほろば夏まつり等地域行事への参加・協力

まほろば夏まつりのチャリティかき氷を実施しました。売上金は災害義援金として送金しました。

実施月日	平成 30 年 8 月 5 日（日）
内容	チャリティかき氷 100 円/1 杯 民生委員児童委員が中心に 775 杯を売上 平成 30 年 7 月豪雨水害義援金・支援金として中央共同募 金会へ送金 【義援金】チャリティかき氷より 38,750 円 吉岡地区V友の会より 10,000 円（チャリティバザー） 【支援金】チャリティかき氷より 38,750 円

となりぐみ活き生きサロンの支援

となりぐみ活き生きサロンの活動を支援するためボランティア保険の加入手続き、ゲーム等の貸出などを行いました。

貸出用レクリエーション用具体験会の実施	平成 30 年 6 月 29 日（金） 参加人数 51 名
---------------------	----------------------------------

福祉団体の活動支援（事務局）、施設との協働事業の開催

団体事務局 団体の運営 事業の開催 会計処理	大和町民生委員児童委員協議会 大和町老人クラブ連合会 大和町ボランティア友の会 大和町遺族会（大和町遺族会吉岡支部含む） 大和町身体障害者福祉協会
施設との協働事業の開催	平成 30 年度実績なし

基本方針③互いに支えあうつながりづくり

実施計画 1 地域福祉のネットワークの構築

- 2 地域での支えあい活動の推進
- 3 ボランティア活動の推進
- 4 生きがいくくりと心身の健康づくりの推進

ひとり暮らし高齢者お茶飲み会「ひなたぼっこの会」の支援

ひだまりの丘を会場に月 1 回一人暮らし高齢者等を対象にしたお茶飲み会を実施しました。実施あたっては吉岡地区ボランティア友の会員 13 名の協力をいただき、お話や歌を中心に行いました。

年間延べ参加者（前年比）	対象者 47 名（- 27 人）／ボランティア 49 名（+1 名）
--------------	------------------------------------

震災避難者交流会「ひまわりサロン」の支援

東日本大震災の避難者交流会の支援を平成 23 年度より実施。情報交換や転入者の相談支援等を行いました。

参加者	対象者 10 名／協力ボランティア 8 名
-----	-----------------------

配食サービスの実施

ひとり暮らし高齢者等を対象にした配食サービスを週 3 回実施。安否確認を兼ねて昼食弁当をお届けしました。

年間(延べ)件数	実施回数 : 132 回	前年度比 : - 11 回
	利用者人数 : 59 名	前年度比 : - 2 名
	配食数 : 3,690 食	前年度比 : +57 食
献立会議の開催	平成 30 年 9 月 19 日 (30 年度下半期分)	
	平成 31 年 3 月 6 日 (31 年度上半期分)	
従事ボランティア交流研修会	平成 31 年 1 月 31 日	
	内容 ①第二次みやぎ 21 健康プラン (塩釜保健所) ②情報交換 参加者 35 名	

事業費 : 町委託料 2,398 千円

ひとり暮らし高齢者への災害時非常持出し袋の配布

災害時の避難用持ち出し袋をひとり暮らし高齢者へ配布。対象者の調査は民生委員児童委員が行い、緊急連絡先を記入する連絡カードとあわせて平時からの備えに活用してもらいました。

平成 30 年度配布数	45 セット
-------------	--------

事業費：歳末配分 108 千円

軽度生活援助事業の実施

高齢者生活支援生きがい健康づくり事業（町委託事業）で掃除等の家事援助を実施。登録ヘルパーを派遣しました。

利用登録者数：5 名	前年度比+1 名
利用者数：3 名	前年度比+1 名
実施延べ日数・時間：7 日・14 時間	前年度比 - 1 日・ - 1 時間
登録ヘルパー数：2 名	前年度比±0 名
清掃（室内、台所流し台、トイレ）窓拭き（内、外、戸棚ガラス、物置小屋） その他（階段、畳、押し入れ、サッシの雑巾がけ）	

事業費：町委託料 15 千円

赤い羽根共同募金（歳末たすけあい運動）の実施

10 月～12 月にかけて共同募金運動を実施しました。30 年度は町内会配分事業としてテント 6 基（29 年度～累計 12 基）を配分しました。

赤い羽根共同募金実績	2,329,635 円（戸別募金）前年度比：+95,350 円
歳末たすけあい運動実績	2,356,680 円（戸別募金）前年度比：-11,835 円 223,977 円（個人・団体）前年度比：-379 円 計 2,580,278 円 前年度比：-12,214 円
テント配分【町内会配分】 申請 23 行政区（配分 2 年目）	8/22 配布式を行い次の行政区へ配分 ⑦下町 ⑧吉岡南三丁目 ⑨前河原 ⑩もみじヶ丘一丁目 ⑪もみじヶ丘二丁目 ⑫清水

基本方針④多様な福祉サービスの仕組みづくり

実施計画 1 地域ケアシステムの確立とサービスの質の向上

2 適切な情報提供・相談事業

生活相談所の開設

困りごと・生活相談所を町の人権相談／行政相談に併設して開設しました。

開設日数等	12日（毎月第二木曜日）10：00～15：00 役場 101 会議室
相談者数・件数	14件 前年度比：－26件 主な内容：財産、法律・人権、その他
相談員	6名（司法書士1名・元行政書士1名・民生委員児童委員3名・保健師1名）

生活安定資金・福祉資金の貸付

一時的な小口資金として生活安定資金の貸付を行いました。県社協の生活福祉資金の申請から償還事務の一部を委託事業として実施しました。

生活安定資金の貸付	申請 27件 791,000円 前年度比： +7件 +111,000円
	貸付 27件 766,000円 前年度比： +8件 +149,000円
	償還 68件 645,000円 前年度比： +16件 +243,000円
生活福祉資金の貸付	1件 前年度比： +1件

緊急用食料等支援事業の実施

貸付資金と組み合わせて緊急時の生活支援を実施しました。米、レトルト食品から利用者の生活状況に応じて弁当やパンを数日に分けて提供しました。（民生委員児童委員・保健福祉課・包括支援センター・南部自立支援センターと連携）

利用者・支援回数	6人11回 前年度比： -6人±0回
----------	--------------------

事業費：18千円 +歳末配分：216千円

生活支援体制整備事業の実施

生活支援コーディネーターを配置し、地域資源の把握や発掘に努めました。また県のモデル事業を受け、町保健福祉課と合同で住民研修会を開催し、その中から「地域のお宝」について発表会を行いました。

地域訪問	162回	生き生きサロン 40回
会議等	32回	関係福祉団体（老連、民生委員、V友の会など）の行事参加。郡内社協生活支援C○会議への参加。
研修等	37回	生活支援C○養成研修、郡内社協研修への参加。
その他	67回	相談・打合せ、資料作成・法人業務。
地域資源の発掘	169回	地域の活動、行事に出向き、地域・文化に触れた。
ネットワーク構築	142回	関係団体との連携を深めネットワークの構築に努めた。
見える化、地域課題の提起	53回	包括支援センターとの出前講座を実施し、地域の見える化を行った。
多様な主体への協力依頼	172回	地域活動の紹介や、研修会への協力を依頼した。
サービスへのつなぎ	9回	サロンの情報提供や地域の方を民生委員児童委員へ繋いだ。
担い手の養成	171回	地域の役員会や高齢者支え合い研修会を通し、担い手の養成を行った。
地域の支え合いづくりの推進	193回	他地区の活動紹介など、情報提供や活動へのアドバイスを行った。
協議体への準備協力	11回	高齢者支え合い研修会などを通して、必要に応じて協議体に参加し情報の共有を図った。

【高齢者ささえあい研修会】

12月4日	吉田地区	吉田コミセン 27名
12月5日	吉岡地区	まほろばホール 40名
12月6日	落合地区	落合ふるさとセンター 28名
12月10日	鶴巣地区	鶴巣防災センター 42名
12月13日	宮床地区	基幹集落センター 28名

グループワーク・テーマ「生き生きサロンの目的と役割について」

その他

監査

内部監査	5月14日
法人指導監査（宮城県保健福祉部）	31年度予定
町財政援助支援団体監査	11月14日（ボランティアセンター・老人クラブ連合会）

大和町保健福祉総合センター管理業務

センターの監視監督	244日	浴室管理の監督	3件
使用申請の受付	184件	蛍光灯等消耗品の交換	1件
苦情・トラブルの対応	12件	防火訓練	1回
点検等の立会い・鍵の受渡	14件	その他	7件

事業費町委託料：240千円